

わらわら函館

▽十二月に入り道南はほとんど毎日のように雪が降っている感じがします。まさか根雪になるまでと油断していたらまんまとやられた感じです。慌てて雪かきを物置から出し、屋根からの雪と舞い降る雪に腰が痛いと言えない時間を過ごしています。降ってくる雪も様々な物が値上がりしている事を考えれば、そんなに無理して降らなくても良いのにと考えますが、今年も昨年並みに降る予報で何かしら困りますが、当社は町内の除雪もしており、仕事のないこの時期は有難い感じもしなくては成りませんが、現場はいりませんよね。プラント管理、製品在庫管理など大変です。これも自然の流れの一部ですから素直な気持ちで受け入れて行かなくてはならないと思います。今年最後のさいせき函館になります。一年間おつきあいを頂きありがとうございます。情報誌として役に立ったのかどうかは、わかりませんがコロナ渦の中、何かしら役立つているのかと目も満足です。



❶ 日砕協北海道地方本部・北海道砕石協同組合連合会

①特に目立った動きは無かったと感じています。ただ、コロナとの情報交換についてはゼロものやコンクリート骨材20mmの不足が取りざたされていますが、砕石協会に対してはただ漠然と数量を示すだけで、どの様にしたいのか、具体的な方策が見えて来ていません。個人意見です。全体として今月下旬に情報交換会が有る様なので解り次第報告いたします。

❷ 本部情報について

・第47回理事会が12月16日に開催されました。残念な事に東北地方本部の会員、約102会員の退会が承認された形です。理由は、会費の未納に対する対応と会費そのものの徴収に対する方向性に対して東北各支部会員から異論が相次ぎ最後の事務局長会議でも本部二役の確な対応策が示されなかつた事によるものと感じています。既に

4年以上結論の出ない状況の中で本部理事の不調和音が続き本部役員・事務局のリーダーシップが問われています。しかし、このような事態になった事は、三役また、事務局のみの問題だけでは言えません。理事全員で解決すると言った意識改革が必要ではないかと感じています。過去の議論も大事ですが、今の議論に真摯に向き合わなくてはならないと思います。私案です

③宅地造成等規制法一部改正する法律に伴う関係政令の整備に関する政令案について盛土規制法許可適用除外の整理がパブリックコメントで出されました。採石業に関しては採石法に準ずる方向です。

休業4日以上災害報告

連絡がありません。この調子で行きたいものです。しかし本年は、相変わらず滑った・転んだの事故や不安全行動の事例が全国で発生しています。北海道、特に、渡島・檜山の道南地区は、冬期間という事もあり、重機の乗車時やプラント整備時の足場の確保に、除雪後の路面での転倒には注意して安全対策を取ってください。更に、プラント稼働時にはコンベヤー各ローラの泥塊除去には注意指導を行ってください。



道南地区砕石協同組合・協会

①八雲砕石(株)の事案について、今月に入って木口社長と電話で協議いたしました。状況としては、すべて管財人との協議になります。乙部砕石場については、継続して引き受けてくれる様な会社と協議を進めてる旨のようです。それに絡めて森林管理署と管財人・木口社長・引受け希望会社との間で協議がされている模様でその後、またまった段階で組合との話し合いをする方向で進んでいるとの事です。組合として一定の方向がなされた段階で協議していく考えです。



②本年も後少ですが様々な事が今年は起こりました。数年続くコロナ感染の拡大により会員の親睦は疎か会議すら儘ならず、組合としてはつらいことも有りました。また、異常気象である事案で大雨にも悩まされ、今は例年より本格的な積雪の中、年末を迎えることになりました。会員各位にはお体には十分に注意されて年末年始を過ごされることを祈念申し上げます。組合の年末年始の休暇は、12月29日、1月9日までです。それでは、皆様方、良いお年をお迎えください。